

平成 27 年度事業報告

I. 調査研究事業部門

1. 調査研究事業

当年度に実施した調査研究活動は次のとおりである。

- (1) 嗜好品と人間・社会に関する調査研究
- (2) 嗜好品文化研究
- (3) たばこ史・たばこ産業史研究
- (4) たばこ神社に関する調査・研究
- (5) 嗜好品の愉しみ関連情報の収集
- (6) 研究関連情報の整備

2. 研究助成事業

平成 27 年度採択の研究に対する助成を実施すると共に、平成 26 年度助成研究の報告会を実施し、助成研究報告書の要約版と報告書全編を TASC のウェブサイトに掲載した。また、平成 28 年度分の応募研究について、審査・採択を実施した。

3. 普及啓発事業

当年度に実施した普及啓発活動は次のとおりである。

- (1) TASC 定期出版物の発行
 - ① 表紙等のデザインに手を加え、「談」103号～105号を発行した。
 - ② 「TASC MONTHLY」472号(4月号)～483号(3月号)を発行した。
 - ③ 「たばこ史研究」132号～135号を発行した。
 - ④ 「平成 26 年度事業概要」を発行した。
- (2) TASC ウェブサイト発信情報の充実

Ⅱ. 博物館事業部門

リニューアル後の博物館は、平成 27 (2015) 年 4 月 25 日にオープンし、入館者総数は 51,501 人 (11 ヶ月) と、平成 24 (2012) 年度の 78,384 人に比べ 27 千人弱減となったものの、オープン一年目、立地条件および今年度の特別展開催回数 (今年度は 3 回、通例は 6 回程度) を勘案すると、ある程度評価できる入館者数であった。また、来館者からも概ね高い評価を受けている。

博物館の早期安定稼働、収蔵資料の安全かつ計画的な移転および情報発信活動を最優先課題として、以下のとおり事業を実施した。

1. 博物館の早期安定稼働

博物館の早期安定稼働に向け、ワークショップルームをはじめとする諸室利用等の運営マニュアルの策定およびその定期的見直しを行い、質の高い入館者サービスの維持に努めた。

2. 収蔵資料の安全かつ計画的な移転

平成 27 (2015) 年秋以降、移転前の博物館に保管している収蔵資料の保存状態の確認と資料整理を本格的に進めるとともに、収蔵庫の環境整備も行い、計画的に収蔵資料の移転作業を実施した。

3. 博物館の情報発信活動

- (1) 「夏休み塩のミニ学習室 2015」、リニューアルオープン記念展「浮世絵と喫煙具 世界に誇るジャパンアート」および「隅田川をめぐる文化と産業 浮世絵と写真でみる江戸・東京」ならびに関連講演会等については、新しい施設・設備や機能を有効活用し、質の高い情報発信活動に努めた。
- (2) 収蔵資料に加え、J T および J T 文化関連遺産等に関するデータベース化を進め、常設展示室および新設した図書閲覧室での活用を開始した。
- (3) リニューアルオープンにかかる広報については、新聞、最寄駅媒体、インターネット、シネアド、電柱広告および雑誌等を通じ効率的・効果的に実施した。